

UMガント

リリースノート

株式会社シナプスイノベーション

© Synapse Innovation Inc.

Confidential

ver.1.5.0

発行日	2022/04/27
最終改訂日	2022/04/27

Ver1.5.0	3
依存関係を用いたデータ表示・データ編集の新規機能追加	4
依存関係を用いたデータ編集の有効・無効の選択を可能とする新規機能追加	5
イベントの無い行の表示及びイベント付け替えの新規機能追加	6
イベントの無い行の表示・非表示の選択を可能とする機能追加	12
生産計画検索の機能強化	13
生産計画検索の複数項目による絞り込みの新規機能追加	14
バージョンアップ手順	10
UMガント	10

1. Ver1.5.0

1.1. 概要

UMガントVer1.5.0において、下記の変更を実施しました。

■スケジュール画面

- ・依存関係を用いたデータ表示・データ編集の新規機能追加
- ・依存関係を用いたデータ編集の有効・無効の選択を可能とする新規機能追加
- ・イベントの無い行の表示・イベント付け替えの新規機能追加
- ・イベントの無い行の表示・非表示の選択を可能とする機能追加

■ガントチャート画面

- ・生産計画検索の機能強化
- ・生産計画検索の複数項目による絞り込みの新規機能追加

各変更による設定の追加等は、本資料の詳細よりご確認ください。

1.2. 詳細

1.2.1. 依存関係を用いたデータ表示・データ編集の新規機能追加

こちらの機能追加により、以下のデータ表示・データ編集が可能となります。

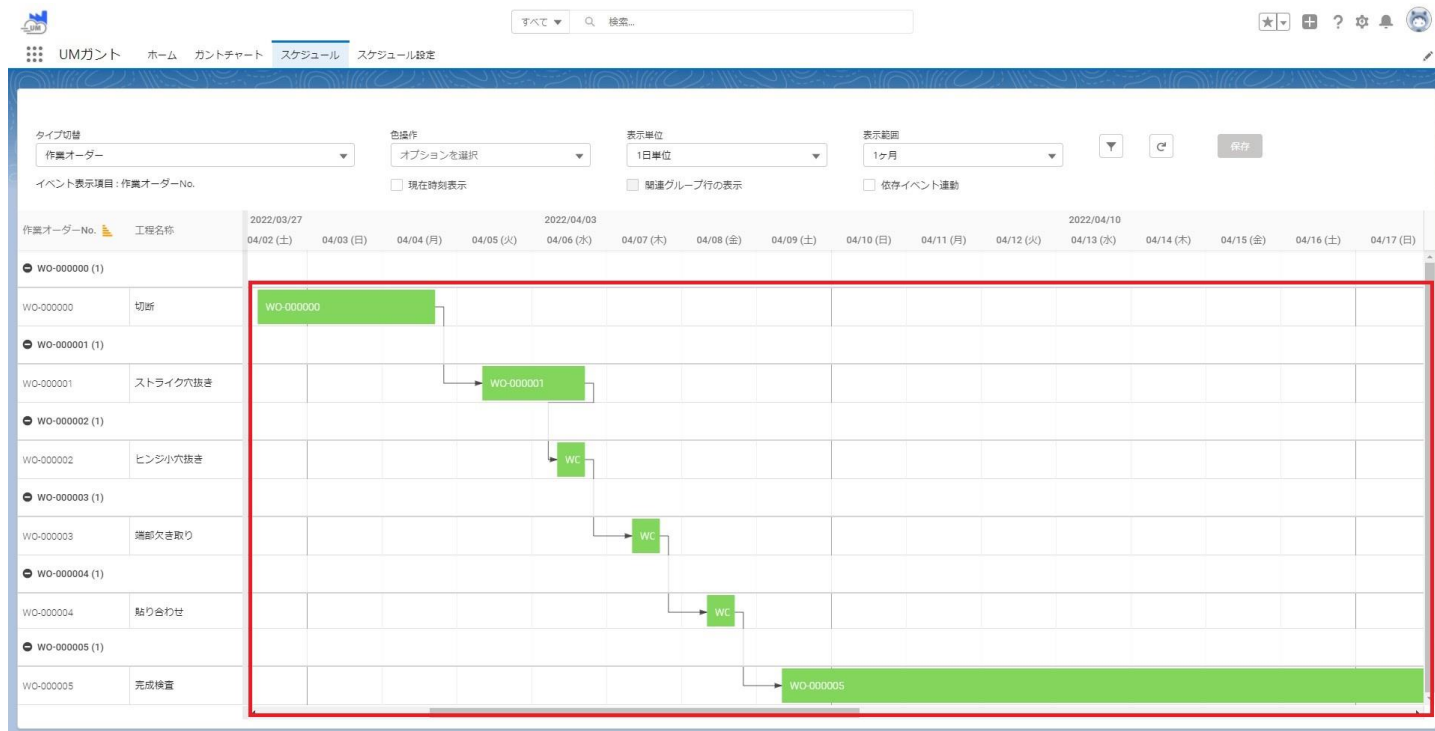
- ・スケジュール上のイベント同士を接続線で結びつける
- ・接続元のイベント日時を変更時に、接続先のイベント日時も連動して変更する

※イベント…スケジュール上で表示するデータで、開始日/開始時刻～終了日/終了時刻で1まとまりとなる時系列データ

スケジュール設定画面の「依存関係」タブより、接続元を決める参照関係の項目を選択してください。（前イベントを参照する形となるため、主オブジェクト自身を参照する項目のみが選択可能）



前イベントを参照している場合に、「前イベントの終了」と「後イベントの開始」を接続線で結び付けて表示されます。



1.2.2. 依存関係を用いたデータ編集の有効・無効の選択を可能とする新規機能追加

「スケジュール」タブの画面で「依存イベント連動」のチェックをつける場合、つけない場合で以下のように動作を変えることが可能となります。

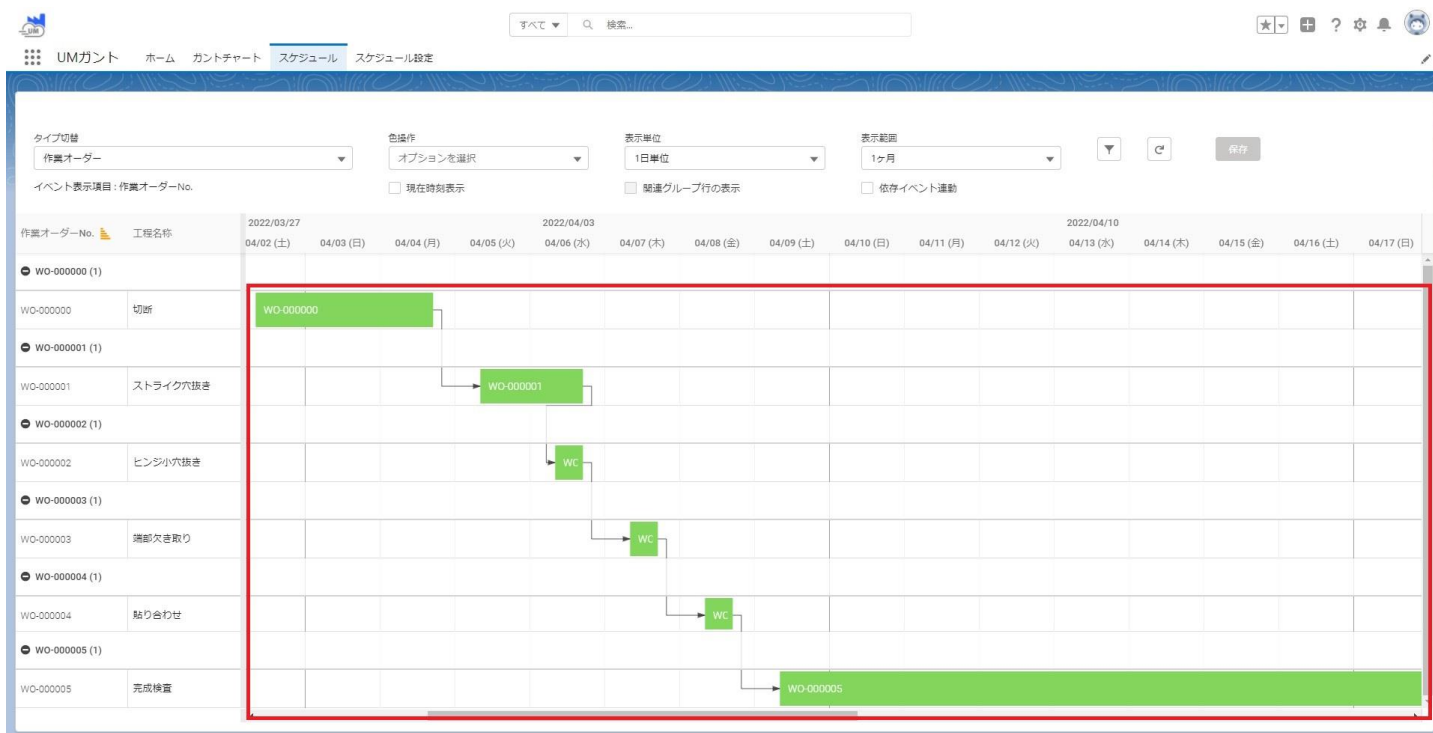
※スケジュール設定画面で、依存関係の項目を選択時のみ有効な機能です

- ・「依存イベント連動」のチェックをつける場合…特定のイベントの終了日時変更時に、接続線で結びついている後続のイベントも連動して日時が変更されます。
- ・「依存イベント連動」のチェックをつけない場合…特定のイベントのみ日時変更され、接続線で結びついているデータ・接続線で結びついていないデータともに日時変更されません。

例

「依存イベント連動」のチェックをつける場合は、赤枠の上部のイベントの日時を変更すると、接続線で結びついている下部のイベントも連動して日時変更されます。

「依存イベント連動」のチェックをつけない場合は、接続線で結びついている場合でもマウス操作で日時変更したイベントのみが変更され、それ以外のイベントは変更されません。



1.2.3. イベントの無い行の表示及びイベント付け替えの新規機能追加

こちらの機能追加により、以下のデータ表示・データ編集が可能となります。

- ・スケジュール上でイベントの無い行を表示
- ・イベントのない行にイベントを移動（付け替え）

※イベント…スケジュール上で表示するデータで、開始日/開始時刻～終了日/終了時刻で1まとまりとなる時系列データ

スケジュール設定画面の「関連グループ表示」タブより、表示すべき行の設定するための項目を選択してください。番号は振っておりますが、下記の項目は任意の順番にご入力いただけます。

1. 主オブジェクトに登録されているイベントが属するグループの構成情報を有するオブジェクト（以降、関連グループオブジェクトと呼称します）を指定してください。

例）UM工程進捗を連携しリソースオーダーを主オブジェクトに指定している場合において、オーダーの対象となるリソースがそれぞれどのリソースグループに所属しているかを登録しているオブジェクトであるリソースグループ構成マスタを選択

2. 関連グループオブジェクトの内、イベントが属するグループ（以降、関連グループオブジェクト検索項目と呼称します）を選択してください。

UMガント ホーム カントチャート スケジュール スケジュール設定

すべて 検索

保存

タイプ 関連グループ表示 予集表示 依存関係 検索条件 色操作

リソースオーダー

作業オーダー

クリア

*主オブジェクト
リソースオーダー

主オブジェクトデフォルト項目1
リソースグループ構成名称

オブジェクト検索
Q

関連グループオブジェクト ①
リソースグループ構成マスタ

カスタムオブジェクト ☒

カラム表示項目1
リソース名称

主オブジェクト条件項目 ①
リソースグループ

主オブジェクトデフォルト項目

+ 選択

削除

関連グループオブジェクトキー項目 ①
デフォルトリソース

関連グループオブジェクト検索項目 ①
リソースグループ

カラム表示項目

+ 追加

削除

3. 関連グループオブジェクトの内、スケジュール上のカラムに追加する項目を選択してください。

The screenshot shows the 'スケジュール設定' (Schedule Settings) page. The '関連グループオブジェクト' (Related Group Object) section is highlighted with a red box. It contains the following fields:

- 主オブジェクト (Main Object): リソースオーダー (Resource Order)
- 主オブジェクト条件項目 (Main Object Condition Item): リソースグループ (Resource Group)
- 主オブジェクトデフォルト項目 (Main Object Default Item): リソースグループ構成マスタ (Resource Group Configuration Master)
- 関連グループオブジェクト (Related Group Object): リソースグループ構成マスタ (Resource Group Configuration Master)
- カラム表示項目1 (Column Display Item 1): リソース名称 (Resource Name)

4. 主オブジェクトの内、関連グループオブジェクト検索項目と同じ項目を参照する物を選択してください。

The screenshot shows the 'スケジュール設定' (Schedule Settings) page. The '主オブジェクト条件項目' (Main Object Condition Item) field is highlighted with a red box, showing 'リソースグループ' (Resource Group).

5. 主オブジェクトの内、関連グループオブジェクトを参照する項目を選択してください。

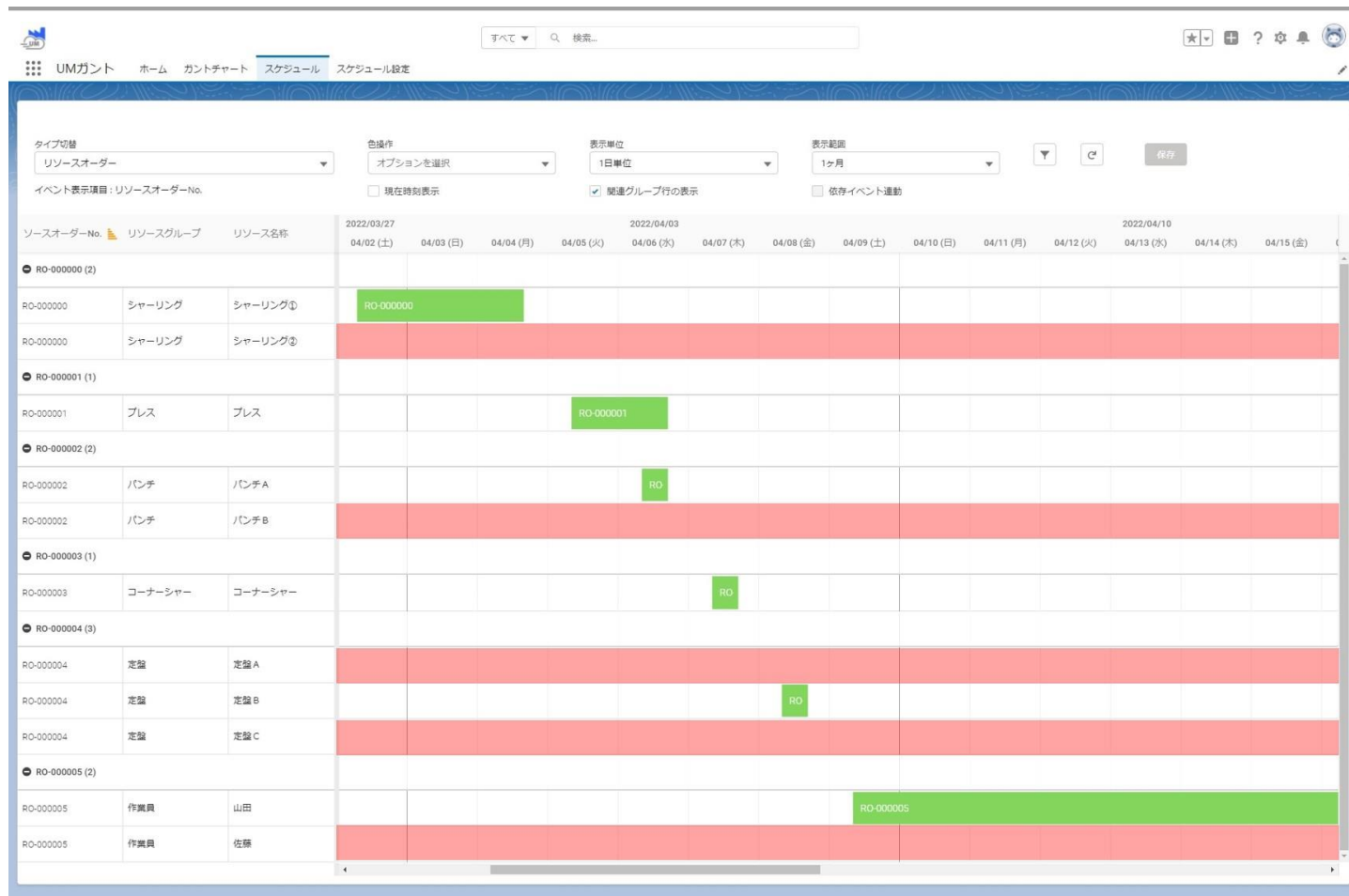
The screenshot shows the 'スケジュール設定' (Schedule Settings) page. The '関連グループオブジェクトキー項目' (Related Group Object Key Item) field is highlighted with a red box, showing 'デフォルトリソース' (Default Resource).

6. 任意で、関連グループオブジェクトキー項目の他に関連グループオブジェクトを参照する項目を選択できます。

※関連グループオブジェクトキー項目で設定した項目に入力が無いイベントを表示する際に利用します。

例) UM工程進捗を連携し工程展開で作成されたリソースオーダーでは、デフォルトリソースは入力がない場合がありますが、工程リソースは必ず入力されています。この場合工程リソースのデフォルトリソースを選択することで確実にすべてのリソースオーダーを表示できます。

イベントが存在しない行も表示されます。



1.2.4. イベントの無い行の表示・非表示の選択を可能とする機能追加

「スケジュール」タブの画面で「関連グループ行の表示」のチェックをつける場合、つけない場合で以下のように動作を変えることが可能となります。

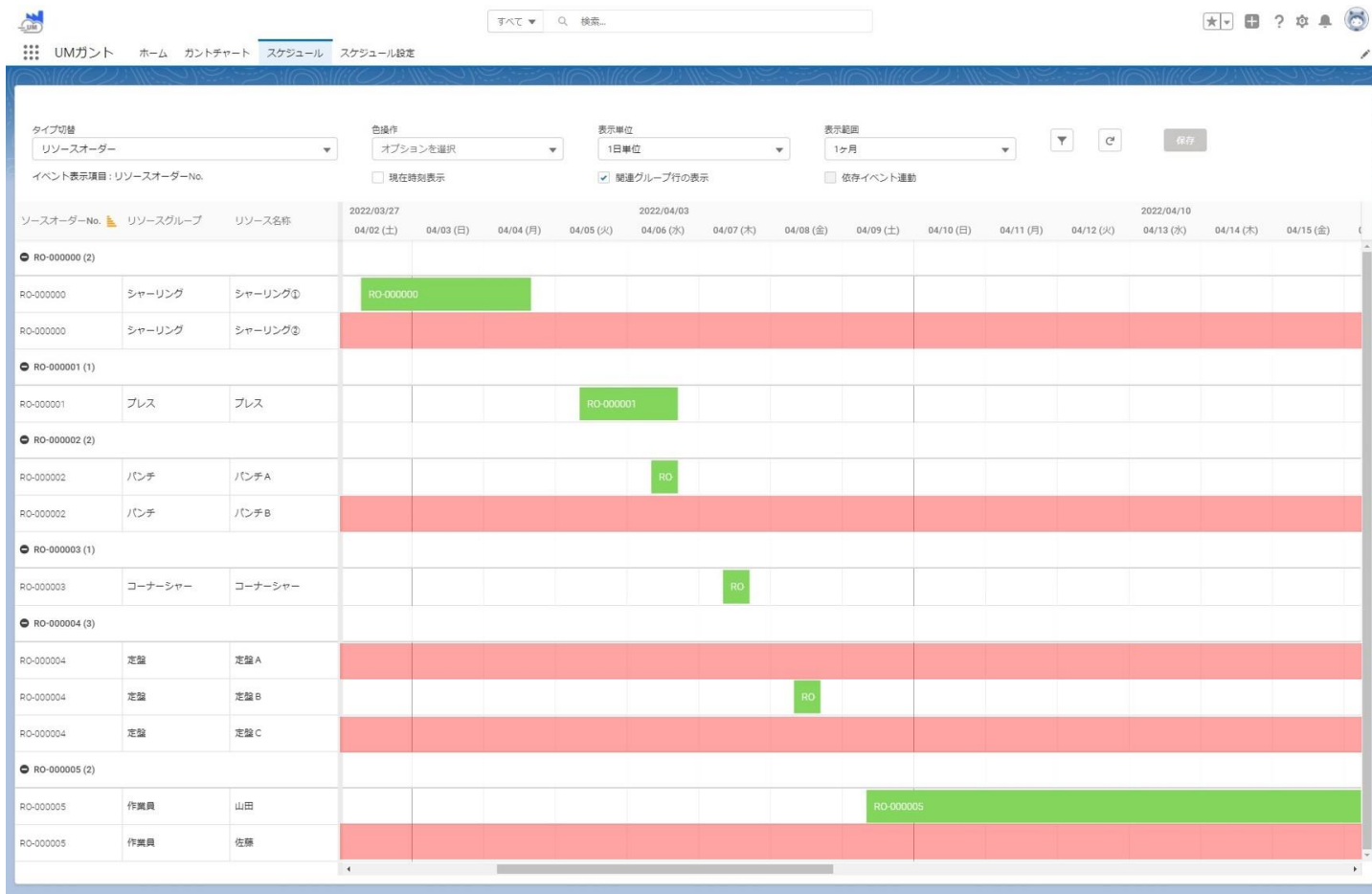
※スケジュール設定画面で、関連グループ表示の項目を選択時のみ有効な機能です

- ・「関連グループ行の表示」のチェックをつける場合…設定で選択したグループオブジェクトに登録されている内容に従って、イベントの無い行も全て表示されます。
- ・「関連グループ行の表示」のチェックをつけない場合…イベントのある行のみ表示されます。

例

「関連グループ行の表示」のチェックをつける場合は、赤い行も表示されます。

「関連グループ行の表示」のチェックをつけない場合は、赤い行は表示されません。



1.2.5. 生産計画検索の機能強化

ガントチャートの生産計画の検索に用いることが出来る項目に下記の項目を追加致しました。

- ・品目
- ・納期

※検索はあいまい検索で行われます。

ガントチャートの生産計画の検索結果に下記の項目の表示を追加致しました。

- ・品目
- ・納期
- ・受注No.
- ・得意先

※受注No. 及び得意先は生産計画に関連した受注を参照して表示します。



1.2.6. 生産計画検索の複数項目による絞り込みの新規機能追加

生産計画の検索の際に、予め下記の項目の入力欄に入力することで、その内容に従って生産計画の絞り込みをした上で検索ができます。

- ・ 品目
- ・ 納期
- ・ 受注No.
- ・ 得意先

※全ての入力欄にご入力頂く必要はございません。必要な項目のみをご入力ください。

※受注No. 及び得意先は生産計画に関連した受注を参照して絞り込みます。

絞り込み前の表示例

The screenshot shows the UM Gantt application interface. At the top, there are navigation tabs: 'UMガント', 'ホーム', 'ガントチャート', 'スケジュール', and 'スケジュール設定'. Below these, there are search fields for '品目' (Item), '納期' (Due Date), '受注No.' (Order No.), and '得意先' (Customer). The '品目' search field is highlighted with a red box, showing a dropdown list of items. The '受注No.' field contains the value '5-0000000001'. The '得意先' field is empty. The '保存' (Save) button is visible. Below the search fields, there is a table with columns for '工程手配ヘッダ', '計画数量', and '納期'. The table shows a timeline from 2022/04/10 to 2022/05/08.

受注No. で絞り込んだ後の表示例

The screenshot shows the UM Gantt application interface after filtering by Order No. The '受注No.' field is highlighted with a red box, showing the value '5-0000000001'. The '品目' search field is also highlighted with a red box, showing the same dropdown list of items. The '保存' (Save) button is visible. Below the search fields, there is a table with columns for '工程手配ヘッダ', '計画数量', and '納期'. The table shows a timeline from 2022/04/10 to 2022/05/08.

2. バージョンアップ手順

パッケージURL :
UMガント

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004C2hYAAS>

1. 上記のパッケージURLにアクセスしパッケージのインストールを行う。
2. ログイン画面でアップデートを行う環境のユーザでログインを行う。



The image shows the Salesforce login interface. At the top is the Salesforce logo, a blue cloud with the word 'salesforce' in white. Below the logo is a white login box. Inside the box, there are two input fields: 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password). To the right of the 'ユーザ名' field is a link that says '12 件の保存されたユーザ名' (12 saved usernames). Below the password field is a blue button labeled 'ログイン' (Login). Under the button is a checkbox labeled 'ログイン情報を保存する' (Save login information), which is currently checked. At the bottom of the login box are two links: 'パスワードをお忘れですか?' (Forgot your password?) and 'カスタムドメインを使用' (Use custom domain). Below the login box, there is a link 'カスタマーユーザではありませんか?' (Not a customer user?) and a button labeled '無料トライアル' (Free trial).

3. 「管理者のみのインストール」を選択し、「アップグレード」をクリック
※インストール前に必ず今回アップグレードを行うバージョンになっているか、バージョン名を確認。



アップグレード UMGanttChart

コメント作成者

i 以前のバージョンがインストールされています。既存のデータを保持したままアップグレードできます。

インストール済み: ver 1.4 (1.4.1) 新しいバージョン: ver 1.5 (1.5)



☒ 管理者のみのインストール



☐ すべてのユーザのインストール



☐ 特定のプロファイルのインストール...

アップグレード

キャンセル

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
UMGanttChart		ver 1.5	1.5

その他の詳細

コンポーネントを表示

4. インストール完了後、「完了しました」の画面が表示される。
5. 画面右上の⚙️ボタンより設定を選択。



6. クイック検索より「インストール」で検索し、「インストール済みパッケージ」を選択。アップデートを行ったバージョンになっているか確認する。

